

夏休みの子どもたちには、いろいろな教室がありました。

「子どもサマーセミナー」の取り組みをご紹介します

▼問合せ 学校教育グループ ☎079 (435) 0545



▲ていねいに手作りする料理を教わりました

子ども料理教室

7月23、24、25、26日に実施された料理教室には延べ参加人数93人が参加しました。生地づくりもソースづくりも教わりながら手作りしたピザづくり。播磨町で捕れたタコとアナゴを使ったの、タコめし、タコの天ぷら、焼きアナゴ、かきあげ、そして豆腐とトマトのスープ。学校給食のメニューにでてくるハヤシライスと牛乳かんなど、どの開催日のメニューもこだわりのあるレシピでの料理教室となりました。



▲おどろきと興味でわくわく

小学生のためのロボット教室

8月8日は、ロボットの話を聞き、ロボット(模型自動車)を組み立てて遊びました。参加した30人は真剣な面持ちで、慣れない道具を使って組み立て作業に集中しました。



▲ドライバーやペンチを使うことも楽しい

夏休みの自由研究に役立つ 実験教室

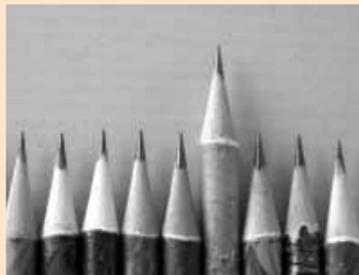
7月31日、36人が参加して、実験したり作ったり試したりしながら楽しく学ぶ実験教室が開催されました。●実験テーマ
・仲よし紙コップスピーカー
・電磁石の力を利用した不思議なおもちゃ 他

子ども英語教室

幼稚園年長・小1・小2の3クラスにわかれ、7月24日の午前と午後子ども英語教室が開催されました。参加した167人の子もたちは、歌やゲームを通して、楽しく英語に親しむことができました。

日本語検定 チャレンジ教室

8月1日、2日。20人の子どもたちが、日本語検定の練習問題にチャレンジしました。(第2回日本語検定の詳細は左ページをご覧ください)



平成24年度 日本語検定受検

今年度2回目の日本語検定が行われます。



日本語検定公式キャラクターにほこん

- ▼検定日 11月10日(出)
- ▼実施時間 各コミセン・学校教育グループに問い合わせください
- ▼受検場所 町内の各コミセン
- ▼締切日 10月5日(金)
- ▼申込み・問合せ 受検をするコミセン、学校教育グループ

- 東部コミセン ☎078(943)6611
- 西部コミセン ☎079(436)9900
- 野添コミセン ☎078(943)4825
- 南部コミセン ☎079(436)4110
- 学校教育グループ ☎079(435)0545

受検料 ※播磨町内の受検会場では、1級は受検できません。

	正規受検料	播磨町で受検する場合	目安となるレベル
7級	1,400円	1,300円	初級Ⅲ 小学校低学年～中学年
6級	1,500円	1,400円	初級Ⅱ 小学校中学年～高学年
5級	1,500円	1,400円	初級Ⅰ 小学校高学年～中学生
4級	2,000円	1,800円	中級Ⅱ 中学生～高校生
3級	3,500円	3,200円	中級Ⅰ 高校生～大学生～社会人初級
2級	5,000円	4,700円	上級Ⅱ 大学生～社会人中級

= 播磨町教育講演会 = これからの道徳教育のあり方

8月23日残暑厳しい中、播磨町全教職員対象の教育講演会が中央公民館で実施されました。今年、元文部科学省道徳の教科調査官で現昭和女子大学大学院教授の押谷由夫先生を講師に迎え「これからの道徳教育のあり方」についてご講演をいただきました。

先生は、滋賀県出身ということもあり、少なからず関係を持たれていた津市におけるいじめによる自殺では大変心を痛めておられました。講演の冒頭、道徳教育をする意味は2つある。その1つは、温かい心の通いが広まり深まる。そしてもう1つは、人間としての生き方、志が高まることである。津のいじめ事件では、今一度道徳教育の大切さを考え直す必要がある。

道徳教育とは何か。「子どもたちは、みんなよりよく生きたいのです。できるようになりたいのです。認められ、ほめられたいのです。かっよく生きたいのです。その気持ちに共感し寄り添いましょう。誠心誠意、心をこめて。」それが道徳教育です。「子どもたちのよりよく生きようとする心を徹底的に信じること。よりよく生きようとする姿をとことん探すこと。それを本人が気づき、その芽をとともに伸ばしていけるようにすること。」それが要である道徳の時間です。

「君がこの地球にデビューしたとき、どんな夢を見たんだい」この言葉は、大野靖之さんの「心のノート」の冒頭の歌詞です。いじめで自殺した彼のことを思うとき、彼は、いじめられ自殺するために生まれてきたのではない。加害者も、そんないじめをするために生まれてきたのではない。

後半では、これから学校で行う道徳教育のあり方について7つの提言をいただきました。

- 1 子どもを信頼し心を込めてかかわり続ける
- 2 人間の尊厳性を自覚できるようにする
- 3 道徳教育を再度見直す
- 4 学ぶことが互いの喜びとなる授業をする
- 5 協同的な学びを発展させる授業を行う
- 6 心に刻む道徳授業をしていく
- 7 重点的指導(内容項目)を工夫しよう



盛りだくさんの内容に具体的な事例を通してお話を聞くには時間が足りませんでした。それぞれの先生方が道徳の授業を計画していくときに考えておかなければいけないポイントとなる言葉が、聞けたのではないかと思います。今後は、それぞれの学校で道徳教育の充実に努めていきたいと考えています。共に、子どもたちのよりよく生きようとする心(芽)を伸ばしていきたいでしょう。

▶問合せ 学校教育グループ ☎079 (435) 0545